

質問件名 市民が集い学ぶ場を知恵と工夫でもっとふやそう

【質問要旨】

小平市は公民館事業も活発で、コミュニティ施設である地域センターも数多くあるため市民が集まったり学んだりする場に恵まれていると思っています。さらに市民活動支援や協働の視点が加わり、地域活動やボランティアをする市民も増えています。

最近では独自に講演会や講座、映画上映会を開催したり、団体が横に連携して開催するイベントなども増えています。このような活動は、まさに市民の力の活性化であり、企画を主催する側でなくても関心のあるイベントに参加することで地域とのつながりをつくったり、地域の課題を発見するきっかけにもなっていきます。また、社会参加は健康づくりや介護予防にもつながります。

市民の集い方や学び方が多様になってきていることを考えると、公共施設のあり方を従来通りではない目線で見直すことも必要だと考えます。多様な公共施設の使い方を模索することは利用率アップという意味での行政改革であるとも言えます。

また公共施設にこだわらず、市内にある場所を市民が集い学ぶ場として確保していくことは、今後床面積を20%削減しつつサービスを減らさないようにする公共施設マネジメントの実践においても重要です。知恵と工夫で市民が集い学ぶ場を増やすために以下の質問をします。

- ① 公民館や地域センターなど貸し部屋の予約開始は、現在は原則として前月ですが、これを3か月前や半年前に延ばせないでしょうか。
- ② 市内の大学や事業者と連携して、市民が集ったり学んだりする場を借りる仕組みをつくれないでしょうか。
- ③ 公共施設の予約システムに地域センターや福祉会館などを組み込み、統一したインターネット予約システムをつくれないでしょうか。
- ④ 公民館の市民学習奨励学級の枠をさらに拡充できないでしょうか。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

2017年11月16日 小平市議会議長 殿

小平市議会議員 氏名 日向 美砂子
受付番号【 】

26	25	24	23

— (/)